

ゼロカーボンの実現へ 市民館等でエネルギーの地産地消をスタート！

本市は、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティとよはし」を目指しています。昨年度、公共施設へ自家消費型の太陽光発電設備等の導入事業（PPA事業※1）について、公募型プロポーザルによりサーラエナジー株式会社東三河支社を実施事業者を選定し、今年度、国庫補助事業（※2）を活用し、市民館等の避難所施設を中心とする15施設に太陽光発電設備及び蓄電池を設置し、エネルギーの地産地消をスタートしました。

■ 事業目的

- 使用電力の再エネ化（豊橋市役所 RE100）とエネルギーの地産地消
- 平常時の温室効果ガスの排出抑制
- 施設のレジリエンス向上（停電時に施設へ電力を供給する災害対応力の向上）

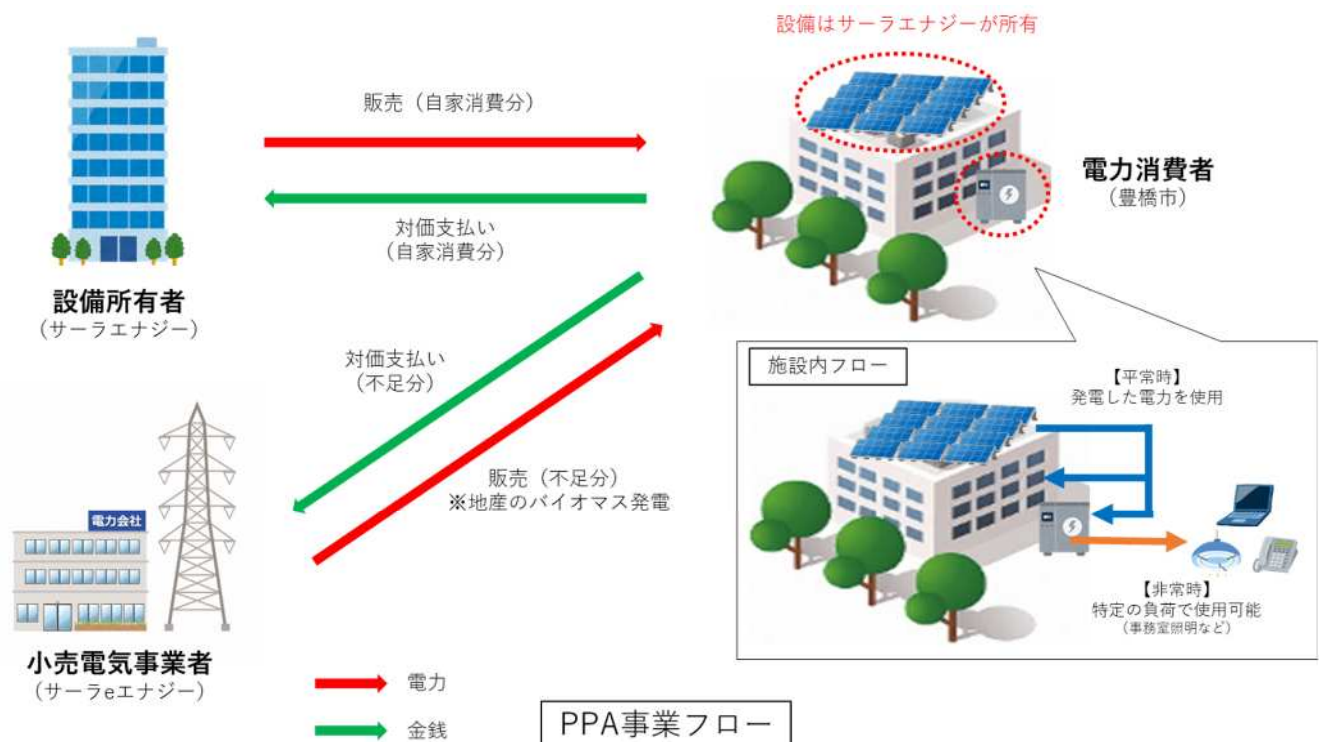
■ 事業概要

<サーラエナジー株式会社>

- ・ 太陽光発電設備及び蓄電池を設置
- ・ エネルギーマネジメントシステムによる運用、保守管理などを一貫して実施
- ・ 運用開始から17年間の維持管理
- ・ 事業期間終了後は設備を本市に無償譲渡

<豊橋市>

- ・ 施設使用の許可をするとともに、発電された電力を使用し、電気代として支払う



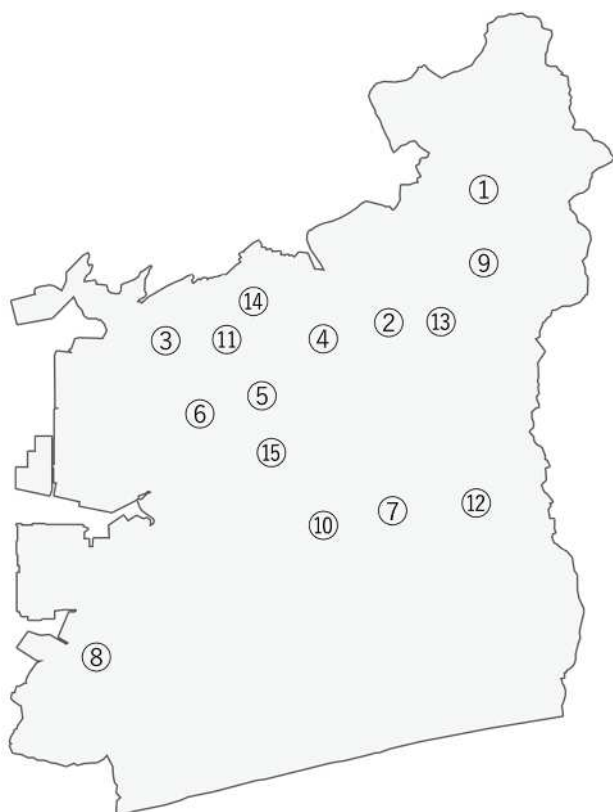
※1：PPA（Power Purchase Agreement：電力購入契約）

設備設置事業者（PPA 事業者）が施設の未利用地（屋根や隣接地）に太陽光発電設備を設置し、施設側は設備で発電した電気を購入する契約のこと。施設側は設備を所有しないため、初期費用の負担や設備の維持管理をすることなく、再生可能エネルギーの電気を使用することができる。

※2：国庫補助事業

令和4年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業）

■ 導入施設



施設名	太陽光発電設備 設置容量 (kW)	蓄電池 設置容量 (kWh)
① 石巻地区市民館	12.0	9.8
② 青陵地区市民館	15.0	9.8
③ 吉田地区市民館	12.0	16.4
④ 豊城地区市民館	12.0	16.4
⑤ 羽根井地区市民館	7.5	6.5
⑥ 牟呂地区市民館	15.0	16.4
⑦ 高師台地区市民館	7.5	9.8
⑧ 杉山地区市民館	7.5	9.8
⑨ 石巻校区市民館	5.6	16.4
⑩ 高師校区市民館	5.6	9.8
⑪ 吉田校区市民館	6.0	16.4
⑫ 二川校区市民館	6.0	16.4
⑬ 牛川東保育園	15.0	9.8
⑭ 津田保育園	12.0	9.8
⑮ 南部窓口センター	12.0	16.4
計 15施設	150.7 kW	189.9 kWh

設置例：⑥牟呂地区市民館



■ 導入効果

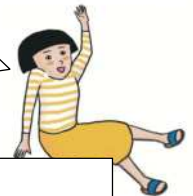
- ① 使用電力の再エネ化（地産地消率）：15 施設全体の約 90%
 ※不足電力で供給される地産のバイオマス発電を含む
- ② 二酸化炭素排出量の削減効果：15 施設全体で削減率は約 40%
- ③ 停電時等の対応：全施設への蓄電池の導入（容量 6.5～16.4kWh）
 → 停電を伴う非常時には防災用電源として活用
 （特定の照明やコンセントなどへ電力を供給）

■ 今後のゼロカーボンに向けた取り組み（PPA 事業）

令和4年度（R5.2～）	市民館等15施設におけるPPA事業の開始
令和4年度（R5.3）	豊橋総合動植物公園、ライフポートとよはし、保健所・保健センターにおける再生可能エネルギー等導入事業の公募（契約候補者の特定）
令和5年度	上記3施設の導入に向けた工事等の実施
令和5年度以降	公共施設への再生可能エネルギー等の導入実施、事業性の検討

公共施設のゼロカーボンを進めていくに～！

かん田きょう子さん



問合先 環境部 ゼロカーボンシティ推進課 主幹 大村（電話 51-2409）

